



まつみの実 1月号



今日からはじまる

高丸 とも子

あなたが青く

大きな光も

一億五千万キロの

かなたから

何かいいこと

みんなに会えてよかった

そばにあること

みんながいて気づいた

命が生まれる

子犬も小鳥も草の芽も

何かいいこと

わたしの鼓動も

ときめきも

わたしがいて気がついた

今日からの殻をやぶる音

何かいいこと



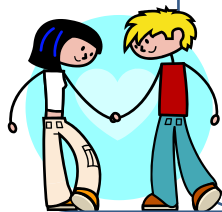
新しい年を迎えて

冬晴れの清々しい空気が流れる中、2010年が幕を開けました。今年はバンクーバーオリンピックの開催、国際読書年、国際宇宙ステーション完成の予定など、生徒にとって発見と学びの多い一年になることと思います。学園ではさっそく今月13日から15日にかけて、志賀高原でスキー・スノーボード合宿を行います。普段の学園生活とはまた違った景色の中で思い切り体を動かし、生徒たちの思い出に残る3日間になることを願います。

新年を迎え教職員一同気を引き締めて、なお一層精進してまいります。保護者様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

2009年を振り返って→2010年、ふたりの目標

～生徒作文から



二〇〇九年は色々なことがありました。

私の中で一番大きかった出来事は、学校に行けなくなっ

てしまったことです。松実に

来る前は、とてもつらくて家

にいるのがこわかったです。

けれど、松実に来てからたく

さんの友達ができて、前の自

分よりも明るくなりました。

た。先生や友達、先輩などに

出会って、色々な人の考え方

を学びました。頭の固かった

私が、物事を柔軟に考えるこ

とができました。

ただ、まだマイナス思考に

考えることがよくあるので、

二〇一〇年はマイナス思考を

直したいです。

今では、話が合って一緒に

いると安心できる友達ができ

ました。前はそういう友達が

あまりいなかったのととても

うれしいです。

二〇〇九年は色々なことに気がつ

くことができた一年でした。

一つ目は「前に一歩踏み出す」と

いうこと、二つ目は「伝えることの

大切さ」です。

正直、二〇〇九年はあまりいい一

年とはいいがたい年でした。人を傷

付けたり、悲しませたり、色々な人

たちに迷惑をかけて……。でも最後の

最後で、少しだけ進歩したかなあ、

と思えたことがあったのです。

私は、伝えることがたまたま怖

くて、今までそのことから逃げてき

ました。そしていつのまにか、伝え

たいのに伝えられなかった、という

くり返しをしてきました。

「もう伝えたって無駄、伝えたって

否定されるのが落ち。」

そんな考えでこの一年もしめくく

るはずでした。

でも違った、先生達が私のSOS

に気が付いてくれたのです。今思えば、先生達はとくに気が付いていて、私が一歩踏み出すのを待っていてくれたのかなあと思えました。はつきりと自信を持っては言えないけれど、踏み出せたのかもしれないと思えました。

まだまだ怖いという気持ちはあるけれど、「怖いから逃げる」というのではなく、「怖いけど頑張ってみよう」と思ってこれからは生きていきたいなと思います。二〇一〇年も自分が変わるきっかけがあったらいいなと願っています。